



大切な人を守るコンクリート住宅やインフラ改修工事で
甚大化する災害に対し、安全・安心な街づくりを

株式会社ウベハウス東日本

高崎市



代表者：反町優哉
設立年月日：1984年12月12日
資本金：9,900万円
従業員数：27人

住所：高崎市新保町1665-1
TEL：027-352-8891
Mail：info-desk@ubehouse.co.jp
URL：https://ubehouse.co.jp



WEB サイト

● 事業者紹介

ウベハウス(株)の代理店として、1984年に(株)ウベハウス群馬を設立。1998年に北海道札幌の支店の経営権を譲り受け、ウベハウス東日本と社名を変更。建築・土木・不動産を取り扱う総合建設業で、群馬県および高崎市の経営事項審査におけるAランクの企業として、公共事業をメインに地域密着型の工事施工を行っています。



● 経緯・背景

災害の甚大化が叫ばれる今、安全・安心な街づくりを目指し、日々邁進しています。少子高齢化での人手不足に、新型コロナをはじめとする感染症など、経済や社会、地球環境が大きく変化している中、会社や社員が支えられている地域に対してできることを自問し、人が生きる上で必要な建物やインフラを支える企業として地域に貢献しています。



● 具体的な取組や成果

大地震でも崩れず、寒冷地でも温かい家として人気のコンクリート住宅 国土交通省認定のBCPを策定し、地域の安全に貢献するインフラを改修します

● コンクリート住宅

ウベハウス東日本では、木造住宅に比べて長持ちするコンクリート住宅をメインでつくり、家族や友人など大切な人を守る家づくりを行っています。その強固な家は過去の大地震でも崩れることなく人々を守った実績があります。また北海道でもコンクリートの価値は認められており、雪が数メートル積もってもびくともせず、寒冷地においても温かい家として人気です。お客様の中には、以前建てたコンクリート住宅を気に入り、次世代でも新築いただけるなど、何世代にもわたり大切な人を守る住環境の提供を行っています。



35年超の歴史を持ち、厳寒の北海道札幌地域でも人気を博している、強固で安心なコンクリート製の注文住宅

● インフラ改修工事

インフラ改修工事は、上下水道はもちろん、台風や線状降水帯などによる豪雨災害時に河川があふれないようにする大切な工事です。この先も住み続けられる地域の安全に繋がっているものであり、当社はこれからも連続と続いていく社会形成の一助となっていきます。

2019年の台風19号でも、工事を請け負った河川での氾濫はなく、未曾有の水災にも対応しました。これからも社員や地域の人々を守るため、BCPの策定にも取り組んでおり、国土交通省の認定を受けています。



毎日変わる天候、毎年進む温暖化の中、住民の暮らしやすさを考え、土木インフラを支えています

当社にとってのSDGsビジョン

地域や人を守る強固な家づくり 災害に強い街づくりを目指す

建設業におけるSDGsとは、当たり前だと思っている生活を当たり前を提供することだと考えています。地震や台風などいつ来るかわからない災害に対して、地域や人を守る安心・安全な街づくり、強固な家づくりを行います。持続可能な社会の実現に向けて、地域の人々と共に地域を発展させる企業でありたいと考えます。

今後の展望と求めるパートナー像

地元高崎市および群馬県の 安心・安全な住環境を構築

地元高崎を中心に、今まで以上に地域に寄り添っていきます。その中で、地域の防災・減災をはじめ、安心・安全な住環境の構築を目指します。大きく変化する時代の中で、地域の人々やパートナー企業と一緒に山積する課題を乗り越え、より一層高崎市、そして群馬県を盛り上げていきます。